

### Ⅲ 事業検証の方針

#### 1 事業検証委員会における検討

事業の整備効果の検証にあたり、第1期対策と同様に、学識者による事業検証委員会を平成25年7月26日に設置し、第1期の効果検証結果を踏まえた、専門的な観点から検証方法や評価手法等の検討を行うとともに、調査データの分析を進め、効果検証を実施した。

#### (1) 「災害に強い森づくり（第2期対策）」事業検証委員会

表Ⅲ-1-1 「災害に強い森づくり（第2期対策）」事業検証委員会の開催概要

区分	開催日	内容
平成25年度	第1回 平成25年8月20日 (県女性交流館301会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1期対策の検証結果について</li> <li>第2期対策の検証内容について</li> <li>第2期対策の整備内容拡充の検討について</li> </ul>
	現地調査 平成26年1月8日 (姫路市・西脇市・多可町・加西市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施状況の調査</li> </ul>
	第2回 平成26年2月19日 (県女性交流館501会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「中間報告書(素案)」審議</li> </ul>
平成26年度	第3回 平成26年5月28日 (県女性交流館501会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「中間報告書(案)」審議</li> </ul>
	第4回 平成26年8月19日 (県女性交流館501会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「報告書(最終)」作成に向けた協議</li> </ul>
	現地調査 平成26年9月11日～12日 (丹波市氷上町・市島町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年8月豪雨災害にかかる現地調査</li> </ul>
	現地調査 平成26年10月21日 (六甲山)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年台風第11号災害にかかる現地調査</li> </ul>
	第5回 平成26年12月10日 (県土地改良会館第1・2会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>次期対策に向けた提言内容の検討</li> </ul>
	第6回 平成27年3月10日 (県女性交流館501会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「報告書(最終)」作成に向けた協議</li> </ul>
平成27年度	第7回 平成27年5月25日 (県女性交流館501会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「報告書(最終)」(案)の審議</li> </ul>

## (2) 検証委員会委員

表Ⅲ-1-2 「災害に強い森づくり(第2期対策)」事業検証委員名簿

分野	氏名	所属・職名
植物生態学、植物社会学	服部 保	兵庫県立大学名誉教授 <b>【委員長】</b>
山地防災、治山工学	北原 曜	信州大学農学部 森林科学科 教授 (第6回まで) <b>【委員長代理】</b> 信州大学名誉教授
森林施業	大住 克博	森林総合研究所 関西支所 主任研究員 (第2回まで) 鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター森林部門 教授
動物生態学	坂田 宏志	兵庫県立大学自然・環境科学研究所 准教授 (第6回まで) 兵庫県森林動物研究センター 特別研究員 株式会社 野生鳥獣対策連携センター 常務取締役
森林動物学	安藤 正規	岐阜大学 応用生物科学部 生産環境科学課程 助教
森林育成・管理	山瀬 敬太郎	県立農林水産技術総合センター 森林林業技術センター 主席研究員
植物生態学、市民参画	石丸 京子	環境学園専門学校 客員教授 尼崎 21世紀の森 森づくりナビゲーター



第3回事業検証委員会の様子



第2回現地調査  
(丹波市氷上町上新庄)

## (3) 調査機関(所属名)

- ・ 県立農林水産技術総合センター 森林林業技術センター 資源部
- ・ 県森林動物研究センター 研究部
- ・ 各県民局 農林(水産)振興事務所 森林林業課・治山課

## 2 各事業の目標とする機能と主な調査項目

県民緑税を活用した「災害に強い森づくり」は、森林の持つ公益的機能のうち「防災機能」の向上を目指すことを主とし、動植物の生息環境の場の創出を目的とする野生動物育成林整備(広葉樹林整備)については「環境保全機能」の向上も合わせて目指すこととする。

各事業が目指す「防災機能」及び「環境保全機能」の種類及び評価の対象となる調査項目は、次のとおり整理する。

表Ⅲ-2-1 目標とする機能と評価の対象となる調査項目（第2期対策）

事業名	機能区分	[細区分]	主な調査項目
緊急防災林整備 (斜面对策)	土砂災害防止	表面侵食防止機能	・土砂流出量 ・植被率
		豪雨に対する防災機能	・豪雨後の目視点検
緊急防災林整備 (溪流対策)	土砂災害防止	土石流緩衝機能	【間伐】 ・立木の引き倒し抵抗力試験 ・流体モデル実験 【広葉樹植栽】 ・立木の引き倒し抵抗力試験 【簡易流木止め施設】 ・豪雨後の目視点検 ・流体モデル実験
		豪雨に対する防災機能	・豪雨後の目視点検
針葉樹林と広葉樹林 の混交林整備	気象災害防止	目標林相への到達度	・群落の階層構造 ・種組成 ・植被率 ・植生保護柵の効果の有無
	土砂災害防止	表面侵食防止機能	・土砂流出量 ・植被率 ・リター被覆率
里山防災林整備	土砂災害防止	表面侵食防止機能	・土砂流出量 ・植被率
		表層崩壊防止機能	・植被率 ・萌芽再生力 ・根系の引き抜き抵抗力試験 ・根系分布調査
		豪雨に対する防災機能	・豪雨後の目視点検
		防災意識の高まり	・アンケート(住民意識の変化)
野生動物育成林整備	快適環境の形成	農作物被害の減少	・農地被害調査
		被害対策意識の高まり	・アンケート(住民意識の変化)
	生態系保全	生育環境の回復	・植生保護柵設置後の変化
住民参画型森林整備	快適環境の形成	獣害対策の進展	・集落の獣害対策の取組 ・アンケート(住民意識の変化)
		危険緩和	・集落の安全対策への取組